

早稲田大学 政治経済学部 総合問題(英語セクション) 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	120分(日本語による長文読解1題+英語による長文読解1題+英作文1題)
特徴・その他	大問は2題。読解問題1題、自由英作文問題1題であった。分量は当然減っているが、レベルは従来とほぼ変わらずというところか。合格ラインは7割程度と予想する。読解問題は文整序問題が出題されなかった。会話文問題もなし。読解問題に新たに、前後の流れから空所にどんな内容の文が入るかを日本語で書かせる記述問題が登場。論理的な思考と日本語ではあるが表現する力も試していると思われる。読解問題の他の設問は空所に入れるべきものを選択肢から選ばせる設問と内容不一致問題のみであった。自由英作文問題は世界的に問題となっている抗議運動がテーマ。やはり多少は社会問題に興味を持っていないと理由を含めてまとめあげるのは難しい。新型コロナウイルスの問題も含めて社会に対すして日ごろから問題意識を持つことが大切だ。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
II	読解問題	<p>分量は今までの大問の2倍程度であろうか。ただ、設問数は従来の1題分しかない。具体的に少し解法を見ていこう。</p> <p>1は空所補充問題。</p> <p>～beings [who (A) to experience (in any way) the wrong done to them...].</p> <p>先 V O'</p> <p>beings が何なのか特定することと in any way が否定文で使わないと意味をなさないのではと思う感覚が重要であろうか。beings は前にある the tree や the forest、the larger ecosystem のこと。また not～in any way で「まったく～ない」の使い方があった。木などにはこちらが悪事を働いても感覚がないから感じることはできないと言っている。</p> <p>4も空所補充問題。11行上にヒントがある。</p> <p>～they can suffer from separation from their families...</p> <p>～ members of many mammalian species...can suffer from separation from (D).</p> <p>(d)の their family groups が正解。</p> <p>5は Think of a suitable sentence for blank space (E). Write your answer in Japanese on your written answer sheet (記述解答用紙①), using no more than 25 characters in each of the boxes (1) and (2).という設問形式。今年度の新形式の設問だ。前後の内容から空所にどのような内容の英文が入るのかを日本語で答えさせる問題。空所の前の文脈もしっかり把握する必要はあるが、特にあとの文の How, then, are we to object to～?の部分をしっかり押さえることが重要。thenは「(推論を表して)それなら」の意味で、How 以下は修辞疑問文になっていることを見抜く。やはり今回の目玉の記述式問題の成否がカギとなるであろうか。</p>	やや難

番号	出題内容	コメント	難易度
Ⅲ	自由英作文	<p>問題形式は変わらないが、テーマとしては前回より書きにくい内容なので、昨年よりやや難としておく。今回のテーマは“Peaceful protests should not turn violent even if protesters feel that their voices are being ignored.”であった。一方、前回は“For teenagers, smartphones do more harm than good.”が課題文。3年ほど法律の話が続き、一昨年は大学生の海外留学がテーマであった。ポイントは2つの理由が書けるかどうかだが、今回のテーマは日本にいる私たちにはやや縁遠いテーマだからこそ、理由を1つではなく2つかけるかが大きな差となるのかもしれない。a paragraph や giving at least two reasons, you agree or disagree with it の部分をしっかり押さえて、まずは指示された通りに書くことが重要だ。100語程度で書くようにと指摘する問題集などもあるが、早稲田大学が指示したことをしっかり守ればいいので、多く書く必要はない。時間との勝負なので、指示さえ守ることができるのなら50語程度で十分だ。理由の2つ目が出てこない可能性がある。1つだけの理由では点にならない可能性が高いので、その場合には、裏腹の理由を書く手がある。「大学には行くべきだ。一つ目の理由は大学が有益だからだ。2つ目の理由は他の道は無益だからだ」のような書き方だ。邪道であるが、英語は大問が2つしかない現状では、ここが0点というわけにはいかないで、背に腹は代えられぬということだ。</p>	標準